

Cisco Digital Network Architecture Spaces の リリースノート（2021年9月）

初版：2021年10月28日

本書について

このリリースノートドキュメントでは、Cisco Digital Network Architecture (DNA) Spaces (2021年9月リリース) の機能、機能強化、および不具合（解決済みと未解決）について説明します。このドキュメントは、[その他の参考資料（6ページ）](#) の一覧にあるドキュメントと併せて使用します。



- (注) この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナルリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、基準ドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco DNA Spaces の概要

Cisco DNA Spaces は、既存のワイヤレスに加え、Internet of Things (IoT) および Bluetooth Low Energy (BLE) インフラストラクチャを活用して、Cisco DNA Spaces に組み込まれたアプリケーションを通じて実用的な知見を提供し、ビジネスの成果を促進する強力なロケーションサービスプラットフォームです。

この知見には次のものが含まれます。

- **位置分析**：時間や位置によるロケーションデータのスライスとダイスを行い、ネットワークに接続しているユーザーの行動をより詳細に可視化する機能を提供します。
- **Right Now**：物理的スペース内のリアルタイムの訪問者数（Wi-Fi に接続されているデバイスで識別）、およびこの数を履歴平均と比較する方法を提供します。**Right Now** レポートでは、使用されている認証方法に基づいて、1人のユーザーに属する複数のデバイスを検出し、それらのデバイスを1人の訪問者に属するものとしてカウントできます。また、**Right Now** アプリは、お客様のロケーションに配置されたカメラ、およびこれらのカメラが Cisco DNA Spaces クラウドに接続されているかどうかに基づいて、レポートを提供します。

- **ビジネスインサイト**：人々がお客様の物理ロケーションに訪れる頻度と、それらのロケーションに滞在する時間を測定する機能を提供します。このデータは、すべてのロケーションにわたり、月単位で比較評価されます。また、ロケーションのパフォーマンスを経時的、グループ別、または業界別に比較評価する機能も用意されています。
- **影響分析**：ネットワークに接続しているユーザーの行動に対する、特定の場所でのイベント、キャンペーン、レイアウト変更の影響を測定する機能を提供します。Cisco DNA Spaces アプリケーションを使用して簡単にイベントを作成し、次の項目に基づいてその影響を測定できます。
 - 特定の場所でユーザーが費やした時間
 - イベントの**発生前**、**発生後**、**発生中**など、特定のタイムラインでの頻度

Cisco DNA Spaces アプリケーションには、**キャプティブポータル**、**ロケーションペルソナ**、**エンゲージメント**など、カスタマーエクスペリエンス管理アプリが含まれており、お客様の物理ロケーションに顧客がいるときにリアルタイムで顧客とつながることができます。その他のアプリケーションとして、**アセットトラッキングアプリ**、IoT サービス (BLE) を管理および設定するためのサービスマネージャ、さらにはこのデータを抽出して他のエンタープライズシステムとの関連付けまたは統合を行うためのオープン API フレームワークもあります。

Cisco DNA Spaces は、さまざまなロケーションベースのテクノロジーやインテリジェンスを通じて各種のサービスを利用できる単一のダッシュボードインターフェイスを備えています。また、Cisco DNA Spaces では、お客様の物理的なビジネスロケーションへの訪問者とながり、関係を深めることもできます。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業界で使用できます。Cisco DNA Spaces のアセットトラッキングアプリケーションは、お客様施設内の資産を監視および管理するためのソリューションを提供します。Cisco DNA Spaces には、これらの知見をアクションに変えるためのさまざまなツールキット、アプリ、および API が用意されています。

Cisco DNA Spaces では、パートナープログラムを通じて、さまざまな業種にわたるさまざまなパートナーアプリケーションにアクセスできます。

Cisco DNA Spaces は、Cisco Catalyst、Cisco AireOS、および Cisco Meraki インフラストラクチャと互換性があります。

記載のサービスに加えて、Cisco DNA Spaces のアプリは、COVID-19 のパンデミックによって増大したビジネス要件に対応できるように強化されています。COVID-19 に伴い重要性が増した特定の要件を満たすために、拡張機能が既存のアプリケーションに組み込まれており、新しいアプリケーションが追加されています。**影響分析**、**位置分析**、**行動メトリクス**、**Right Now** などのアプリの拡張機能を使用すると、ビジネスロケーションに対する COVID-19 の影響を分析し、適切なアクションを実行できます。たとえば、特定の場所のデバイス密度に基づくルールを作成し、その場所の人数が特定の数または密度 (エリアあたりの人数) を超えた場合に自動的に通知を受けられるようになりました。また、**位置分析** アプリでは、組織内の同僚とエグゼクティブサマリーレポートを共有することもできます。さらに、**行動メトリクス** アプリを使用して、個人またはグループのロケーションに関する COVID-19 ベースの傾向分析を実行できるようになりました。これにより、特定のビジネスロケーションを組織全体と比較したり、特定の業界と比較したりすることもできます。

Cisco DNA Spaces の近接報告アプリでは、影響を受けるデバイスの位置履歴やデバイス近接履歴をすばやく確認できます。ユーザー ID または MAC アドレスに基づいて、過去 14 日間の建物内におけるデバイスの位置に関するレポートが、他のデバイスとの近接度とともに生成されます。レポートをエクスポートし、共有機能を使用して共有することもできます。近接報告アプリの詳細については、『[Cisco DNA Spaces Proximity Reporting App Configuration Guide](#)』を参照してください。

同様に、検出と位置特定アプリを使用すると、デバイスを特定の数にまとめて、社会的距離のガイドラインに違反している可能性のあるエリアについてチェックし、報告することができます。検出と位置特定アプリの詳細については、『[Cisco DNA Spaces Detect and Locate Configuration Guide](#)』を参照してください。

Cisco DNA Spaces : IoT サービスは、Cisco DNA Spaces 内のプラットフォームサービスで、シスコのワイヤレスインフラストラクチャを使用して IoT デバイスを要求、管理、および監視できます。IoT サービスは、複数のベンダー、フォームファクタ、テクノロジープロトコルにまたがって IoT デバイスを管理できるように設計されています。BLE は、IoT サービスを使用した管理に利用できる業界初の技術です。IoT サービスの詳細については、『[Cisco DNA Spaces IoT Services Configuration Guide](#)』を参照してください。

Cisco DNA Spaces では、サードパーティアプリ、つまりパートナーアプリを Cisco DNA Spaces に統合できます。サードパーティアプリは、Cisco DNA Spaces ダッシュボードにパートナーシップアプリとして表示されます。

セットアップや構成を含む、Cisco DNA Spaces の詳細については、『[Cisco DNA Spaces Configuration Guide](#)』を参照してください。

Cisco DNA Spaces ライセンスパッケージ

Cisco DNA Spaces は、**See**（基本）、**Act**（高度）、**Extend** という 3 種類のライセンスパッケージで利用できます。アカウントで使用できる機能は、所有する Cisco DNA Spaces ライセンスパッケージのタイプによって異なります。

Cisco DNA Spaces See、Extend、および Act ライセンスに含まれる機能については、『[Cisco DNA Spaces Data Sheet](#)』を参照してください。

今回のリリースでの新機能

ダッシュボード

スマートライセンスとの統合：シスコスマートライセンスは、ソフトウェアのアクティブ化と管理の方法を合理化する柔軟なライセンスモデルです。このソリューションを使用すると、ライセンスのステータスとソフトウェアの使用傾向を簡単に追跡できます。Cisco DNA Spaces でシスコスマートライセンスを有効にするには、Cisco Smart Software Manager (CSSM) を使用して設定されたスマートアカウントが必要です。Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、**[Profile] アイコン > [Activate Smart License]** の順に選択して、シスコスマートライセンスをアクティブ化します。

- **ライセンスのアップグレード/ダウングレード**：シスコ スマートライセンスをアクティブ化した後、Cisco DNA Spaces ライセンスをアップグレードまたはダウングレードできます。これを行うには、**[Profile] アイコン** > **[License info]** > **[Select License Level]** の順に選択します。
- **トライアルサポート**：シスコ スマートライセンスをアクティブ化した後、Cisco DNA Spaces サポートチームに連絡して、トライアルサポートを有効にすることができます。トライアルモードが有効になっている場合、スマートエージェントは、CSSM へのライセンスの使用状況の更新を行いません。

詳細については、「[Cisco Smart License](#)」を参照してください。

行動メトリクス

[Workspaces] 分野：[Workspaces] 分野向けに、キャンパスレベルの計算が実装されています。以前は、ロケーション階層のネットワークノードを使用してメトリクスを取得していました。[Workspaces] 分野について報告されるデータの品質を向上させるために、キャンパスノードを使用して訪問を追跡し、知見を得ることができます。企業や大学のほとんどのリアルタイム環境では、人々はキャンパス内にある近接する建物間を往来します。ネットワーク間を移動する人々のこのような行動から、訪問を追跡して知見を得るための単一の連続したスペースであるキャンパスノードに移行する必要性が高まっています。

- [Location] オプションからキャンパスノードを選択すると、キャンパスの平均が、[Workday Duration]、[Employee Frequency]、[Density Index]、[Entry Time]、[Exit Time] チャートに表示されます。
- 新しいフロアおよびゾーンレベルのチャートが追加されています。ネットワークロケーションを選択して、次のチャートを表示できます。
 - フロア/ゾーン別プレゼンス
 - フロア/ゾーン別シェア (%)
 - フロア/ゾーン別密度
 - フロア/ゾーン別訪問時間



注 デフォルトでは、キャンパスとグループのロケーションデータはルートレベルのビューに表示されます。ロケーション階層でキャンパスロケーションが定義されていない場合は、ネットワークのロケーションデータが表示されます。

[Education] 分野：行動メトリクスアプリに [Education] という新しい分野のサポートが追加されています。すべての主要なチャートは、学生のメトリクスに基づいた情報を反映しています。[Education] 分野のチャートで使用されるすべてのメトリクスは、[Workspaces] 分野のチャートと同様です。

Cisco DNA Spaces SDK

Cisco DNA Spaces ソフトウェア開発キット (SDK) は、OpenRoaming テクノロジーを活用して、ユーザーによる操作を必要とせずに、シームレスかつ安全にユーザーを Wi-Fi ネットワークに接続します。Cisco DNA Spaces SDK により、iOS または Android アプリケーションの開発者は、バックエンドシステムで検証できる任意の ID を使用して iOS および Android デバイスを設定できます。また、Cisco DNA Spaces SDK を使用すると、開発者は、iOS および Android の通知フレームワークを介して、ユーザーに関する詳細情報を追加し、デバイス上でユーザーと直接関わり合うことができます。

SDK 構成セクションには、ハンバーガーメニューアイコン > **[Integrations]** > **[Cisco DNA Spaces SDK]** からアクセスできます。これにより、ネイティブアプリ (iOS および Android) を Cisco DNA Spaces に登録できます。

詳細については、「[Cisco DNA Spaces SDK Integration](#)」を参照してください。

このリリースでの変更点

ダッシュボード

Cisco DNA Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が行われています。

- **[Connect via Meraki Login]** ウィジェットが Cisco DNA Spaces ダッシュボードから削除されました。
- すでに Cisco Meraki ログイン情報を使用して接続している既存のユーザーは引き続き有効であり、Cisco DNA Spaces ダッシュボードで **[Connect via Meraki Login]** ワイヤレス ネットワーク オプションを表示できます。
- **[Connect via API]** キーが、Cisco DNA Spaces を Meraki アカウントと統合するために推奨される方法です。

行動メトリクス

[Workspaces] 分野の次のチャートとオプションは、**行動メトリクス**アプリから削除されました。

- **[Top & Bottom]**、**[Important]**、**[Pinned Locations]** オプション
- **[Occupancy Index]** チャートとすべての **[Line]** チャート

Right Now

Right Now アプリが有線デバイスをサポートするようになりました。**[Settings]** メニューの **[Include Wired Devices]** オプションを使用して、アクティブな訪問者の一部として有線デバイスを含めることができます。デフォルトでは、有線デバイスは除外されます。

不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、*x* は任意の文字（a～z）、*N* は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

Cisco バグ検索ツール

シスコバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の注意事項

ここでは、Cisco DNA Spaces のこのリリースにおける未解決の不具合を示します。

表 1: Cisco DNA Spaces 未解決の不具合

不具合の識別子	不具合の説明
CSCvu98859	新しい構成を適用すると、[Button Click] データや [Movement] データなどのテレメトリが 18 時間以上にリセットされる
CSCvv16880	ゲートウェイの展開ワークフロー中に、タイミングの問題により、AP が「needs config mode（設定モードが必要）」として誤って分類されることがある

解決済みの問題

Cisco DNA Spaces のこのリリースで解決された不具合はありません。

その他の参考資料

- Cisco DNA Spaces のすべてのユーザーマニュアルは、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/dna-spaces/series.html> で入手できます。

- Cisco DNA Spaces と他のシスコ製品との互換性については、『[Cisco DNA Spaces Compatibility Matrix](#)』を参照してください。
- 接続のタイプに応じた Cisco DNA Spaces 機能の互換性については、次の Web ページの「Table 3. Feature compatibility depending on type of connection」を参照してください。
<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/wireless/dna-spaces/datasheet-c78-741786.html#PlatformArchitectureandfeatures>。
- Cisco DNA Spaces See、Extend、および Act ライセンスに含まれる機能については、次の Web ページの「Table 5. Features included in Cisco DNA Spaces See, Extend, and Act」を参照してください。
<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/wireless/dna-spaces/datasheet-c78-741786.html#PlatformArchitectureandfeatures>
- Cisco DNA Spaces へのロケーションサービスの移行については、次を参照してください。
<https://www.cisco.com/c/en/us/solutions/collateral/enterprise-networks/dna-spaces/guide-c07-744932.html>
- Cisco DNA Spaces と Cisco DNA Center の統合については、次の場所にある『*Cisco DNA Spaces Configuration Guide*』の「Cisco DNA Center Integration」の章を参照してください。
https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/solutions/Enterprise/Mobility/DNA-Spaces/cisco-dna-spaces-config/dnaspaces-configuration-guide/m_dnac.html
- Cisco Prime Infrastructure のすべてのユーザーマニュアルは、次の場所で入手できます。
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/prime-infrastructure/series.html>
- Cisco DNA Center のすべてのユーザーマニュアルは、次の場所で入手できます。
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/dna-center/series.html>

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコサービス](#)にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[シスコ サポート](#)にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco DevNet](#)にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

Cisco バグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカルドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。